

知基第161号
平成29年12月15日

内閣総理大臣
安倍 晋三 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（抗議）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一歩間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、政府は、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、政府の責任において、普天間飛行場の緊急的な危険性除去を講じるとともに、5年以内運用停止を早急に実現するよう強く求めます。



知基第161号
平成29年12月15日

内閣官房長官
沖縄基地負担軽減担当大臣
菅義偉 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（抗議）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一步間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでに高く高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、政府は、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、政府の責任において、普天間飛行場の緊急的な危険性除去を講じるとともに、5年以内運用停止を早急に実現するよう強く求めます。



知基第161号
平成29年12月14日

外務大臣
河野 太郎 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（抗議）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一步間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものともみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、政府は、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、政府の責任において、普天間飛行場の緊急的な危険性除去を講じるとともに、5年以内運用停止を早急に実現するよう強く求めます。



知基第161号
平成29年12月14日

防衛大臣
小野寺 五典 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（抗議）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一歩間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、政府は、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、政府の責任において、普天間飛行場の緊急的な危険性除去を講じるとともに、5年以内運用停止を早急に実現するよう強く求めます。



知基第161号
平成29年12月14日

駐日米国大使
ウィリアム・F・ハガティ 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（抗議）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一步間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

知基第161号
平成29年12月14日

自由民主党幹事長代理
金田 勝年 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（要請）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一歩間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを政府を通じ米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、自由民主党におかれましても、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、普天間飛行場の緊急的な危険性除去、5年以内運用停止を早急に実現することを政府に働きかけるよう強く要望します。

知基第161号
平成29年12月14日

自由民主党幹事長代理
林 幹雄 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（要請）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一步間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを政府を通じ米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、自由民主党におかれましても、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、普天間飛行場の緊急的な危険性除去、5年以内運用停止を早急に実現することを政府に働きかけるよう強く要望します。

知基第161号
平成29年12月14日

自由民主党幹事長代行
萩生田 光一 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（要請）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一歩間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを政府を通じ米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、自由民主党におかれましても、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、普天間飛行場の緊急的な危険性除去、5年内運用停止を早急に実現することを政府に働きかけるよう強く要望します。

知基第161号
平成29年12月14日

自由民主党幹事長
二階 俊博 殿

沖縄県知事 翁長 雄志



CH-53Eからの部品落下事故について（要請）

12月13日午前10時9分頃、宜野湾市の普天間第二小学校の校庭に、飛行中の普天間飛行場所属のCH-53Eから部品が落下する事故が発生しました。

事故発生当時は校庭で体育の授業が行われており、一歩間違えば多くの児童の人命に関わる重大な事故につながりかねず、強い憤りを禁じ得ません。

12月7日にも近隣の保育園でCH-53Eのものとみられる部品が発見されたばかりであり、保育園、小学校という子供たちにとって一番安全であるべき場所で、このような事故が短期間に繰り返し発生した事は、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民にとっても大きな衝撃であり、到底容認しがたいものであります。

普天間飛行場所属機については、この1年の間に墜落、不時着・炎上、緊急着陸などを何度も何度も起こしており、このことは米軍の運用を最優先し、安全を軽視する姿勢が招いたものとも言え、県民の不安はこれまでになく高まっております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、全航空機の緊急総点検の実施とその間の米軍機の飛行中止を求めるとともに、事故原因の徹底的な究明及びその速やかな公表、実効性のある再発防止措置の実施、航空機整備、安全管理体制の抜本的な見直しを政府を通じ米軍に対し強く働きかけ、実行させるよう要請します。

また、自由民主党におかれましても、宜野湾市民及び周辺住民の生命・財産を守ることを最優先に、普天間飛行場の緊急的な危険性除去、5年内運用停止を早急に実現することを政府に働きかけるよう強く要望します。